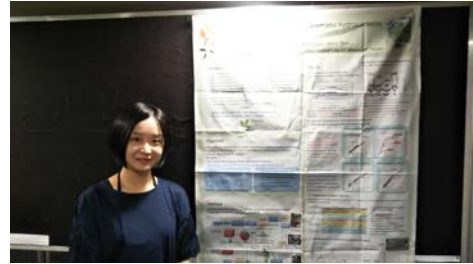


OzFlux-AsiaFlux Conference 2018 にてポスター発表

Ozflux-AsiaFlux 2018 が8月20日から26日にオーストラリアのダーウィンで開催されました。本国際会議ではオーストラリアやアジアでのフラックスに関わる研究の成果が発表されました。私は「Leaf uptake of monocyclic aromatic hydrocarbons by plants (植物による単環芳香族炭化水素の吸収能力の評価)」という題目でポスター発表を行いました。大



気中には様々な揮発性有機化合物 (VOC) が存在し、高濃度の VOC は人間や動物に健康被害を与え、対流圏ではオゾン濃度の上昇に寄与することが知られています。植物には大気中の VOC を吸収する能力があるため、大気浄化効果があるのではないかとされていますが、吸収速度の測定されている物質は少なく、吸収に影響する要因についても明らかとなっていない部分が多いです。私は観葉植物や樹木を使用して単環芳香族炭化水素の吸収速度を測定し、物質間・植物間での VOC 吸収能力を比較しました。また VOC の吸収が気孔の開き具合によってのみ決定され、光合成の際の CO₂ 吸収とは機序が異なる事を明らかにしました。発表では多くの方が興味を持ってくださり、質問やアドバイスを頂きました。そのような機会を頂くことで研究のまとめ方や今後の展望について広い視野をもって考えていくべきである事を実感しました。また国際会議に参加することは初めてでしたので自らの研究について英語で説明することの難しさを痛感し、英語の勉強に対する意欲が高まりました。この度は国際学会発表支援金を頂き貴重な経験をすることが出来ました。誠にありがとうございました。

薬食生命科学総合学府 環境科学専攻

植物環境研究室 博士前期課程1年 小池萌恵子